

平成30年度 事業報告書・決算報告書

公益財団法人 福武財団

I. 事業の状況

今年度の当財団は、美術館事業全体の来館者数が予算比 100.4%と順調に推移し、延べ来館者数は 45 万 7 千人と、通常年としては過去最高を更新した。海外からの来館者数も引き続き好調で、全体の約 4 割と高い水準を維持している。

瀬戸内国際芸術祭 2019 に向けた美術作品の制作や施設の建設も進行した。直島での李禹煥美術館のアーチ作品「無限門」の追加、古い日本建築を改装した The Naoshima Plan 2019「水」、犬島家プロジェクト A 邸での新作展示、小豆島・福武ハウスにおけるアジア作品展示の数々などが進んだ。また、芸術祭 2019 に向けて既存美術施設の大規模修繕も実施した。地中美術館、李禹煥美術館を始め、冬季メンテナンス期間を長くとり、通常期ではできない大規模な修繕を実施した。

国際交流分野では、中国 CGPI (China Global Philanthropy Institute) という社会貢献団体の一員による「アートによる農村再生」プロジェクトが具体化したり、IUCN (International Union for Conservation of Nature) という国際自然保護団体の関連会議が BASN で行われたりと、引き続き活発な交流が続いている。

また、海外広報においては、National Geographic Traveller で、“Setouchi”が The Cool List 2019 の第 1 番目に紹介されたり、New York Times で、“Setouchi Islands”が 52 Places to Go in 2019 の第 7 番目に紹介されたりと、海外メジャー媒体での露出が増加してきている。

更に、今年度は、BASN にゆかりの方々に数多くの受賞があった。建築家・三分一博志氏が直島ホールで村野藤吾賞を受賞、アーティスト・内藤礼氏が芸術選奨 2019 を受賞、当財団も文化庁創立 50 周年記念表彰、そして、当財団常任理事の北川フラム氏が文化功労者に選出など。

助成事業は、昨年度の変更認定申請と内閣府からの認定を受け、新しい助成事業を開始。新規助成プログラムとなる研修助成の方も、海外からの応募者への助成を中心にスタートしている。

また、管理面では、報酬制度の改訂が行われ処遇面の改善が進められるとともに、事務局オフィスの物件取得・改装が行われ、平成 30 年 9 月には、直島・宮浦にある新事務所への移転が実施された。職場環境改善プロジェクトの推進とともに、環境改善は大きく進みはじめている。

定款第 4 条に掲げる事業として、下記の事業を行った。

A 美術館及び美術施設の設置運営に関する事業

以下の美術施設の運営を行った。

① . 「地中美術館」の運営

ベネッセアートサイト直島の中核施設として、安藤忠雄設計の環境へ配慮した美術館に、クロード・モネの「睡蓮」シリーズ他を展示、年間 275 日を開館、167,279 人 (対前年+1,701 人、101.0%) の入館者に対し、現代美術の普及を行った。なお、児童等の無料入館者は 13,111 人であった。平成 30 年 8

月から予約制による運営を開始している。

② . 「李禹煥美術館」の運営

安藤忠雄設計の美術館に「もの派」で有名な李禹煥の作品を展示、年間 277 日を開館、58,210 人（対前年+1,141 人、102.0%）の入館者に対し、現代美術の普及を行った。なお、児童等の無料入館者は 3,804 人であった。

③ . 「直島銭湯（I♥湯）」の運営

大竹伸朗の作品を展示する直島銭湯「I♥湯」を年間 291 日開館、31,256 人（対前年▲1,248 人、96.2%）の入館者に対し、日本文化の普及と地域交流の場の提供を行った。運営は直島町観光協会に委託、施設入館料は当財団に帰属する事業構造としている。

④ . 「ANDO MUSEUM」の運営

安藤忠雄建築研究所設計の ANDO MUSEUM は、直島の木造古民家と現代建築が融合した MUSEUM で、年間 297 日開館、58,920 人（対前年+2,915 人、105.2%）の来館者があった。なお、児童等の無料入館者は 4,057 人であった。

⑤ . 「宮浦ギャラリー六区」の運営

西沢大良建築設計事務所設計の宮浦ギャラリー六区は、展示内容企画中のため通年閉館であった。

⑥ . 美術施設（石橋・碁会所・はいしゃ）の管理

㈱ベネッセホールディングスに、石橋等の美術施設を減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図った。

⑦ . 「女根」の運営

女木島にある大竹伸朗作品となる女根を年間 80 日開館、820 人の来館者があった。運営は、NPO 法人瀬戸内こえびネットワークに委託、施設入館料は当財団に帰属する事業構造としている。

⑧ . レアンドロ作品「不在の存在」の運営

女木島にあるレアンドロ作品となる不在の存在を年間 80 日開館、742 人の来館者があった。運営は、NPO 法人瀬戸内こえびネットワークに委託、施設入館料は当財団に帰属する事業構造としている。

⑨ . 「犬島精錬所美術館」、犬島「家プロジェクト」、「犬島くらしの植物園」の運営

三分一博志設計の「犬島精錬所美術館」に、柳幸典の作品を展示、年間 282 日を開館、18,178 人（対前年▲1,758 人、91.2%）の入館者に対し、循環型社会の普及を行った。また、児童等の無料入館者は 1,354 人であった。犬島「家プロジェクト」では、名和晃平、荒神明香、ベアトリス・ミリヤーゼス、下平千夏、オラファー・エリアソン等の作品を展示し運営、また、自然とともにくらす喜びを体験する「犬島くらしの植物園」の運営も行われた。

⑩ . 「豊島美術館」の運営

西沢立衛設計の美術館に、空間造形作家で有名な内藤礼の作品を展示、豊島の中核施設として、年間 278 日を開館、59,136 人（対前年+2,101 人、103.7%）の入館者に対し、現代美術の普及を行った。なお、児童等の無料入館者は 4,009 人であった。

⑪ . 「森万里子作品（トムナフーリ）」の運営

豊島の森万里子作品「トムナフーリ」は、作品修理中につき通年閉館であった。

⑫. 「ボルタンスキー作品（心臓音のアーカイブ）」の運営

生と死をテーマとしたクリスチャン・ボルタンスキーの作品を展示する美術館。年間 275 日を開館、25,809 人（対前年+1,634 人、106.8%）の入館者に対し、現代美術の普及を行った。なお、児童等の無料入館者は 1,858 人であった。

⑬. 「豊島横尾館」の運営

豊島横尾館は、建築家・永山祐子設計の建築に、横尾忠則の作品を展示した美術館で、年間 277 日を開館、27,237 人（対前年+526 人、102.0%）の入館者に対し、現代美術の普及を行った。なお、児童等の無料入館者は 1,907 人であった。

⑭. 「豊島八百万ラボ」の運営

豊島八百万ラボは、アートと科学のコラボレーションにより新たな神話を生み出していく施設で、スプツ子！による遺伝子組み換えの蚕がつむぐ「運命の赤い糸」にまつわる映像作品とインスタレーションを展開。年間 85 日を開館、1,456 人（対前年▲667 人、68.6%）の来館者に対し、現代美術の普及を行った。なお、児童等の無料入館者は 171 人であった。

⑮. 「針工場」の運営

針工場は、豊島家浦地区にある旧針工場に宇和島の造船所にあった船型を運び展示した大竹伸朗作品で、芸術祭のテーマである「海の復権」を象徴する施設となっている。年間 83 日を開館、2,871 人（対前年▲849 人、77.2%）の来館者に対し、現代美術の普及を行った。なお、児童等の無料入館者は 237 人であった。

⑯. 「イル ヴェント」の運営

トビアス・レーベルガーの作品を展示する豊島の美術施設「イル ヴェント」を年間 83 日開館、5,521 人の来館者があった。運営は、NPO 法人瀬戸内こえびネットワークに委託、施設入館料は当財団に帰属する事業構造としている。

⑰. 「福武ハウス」の運営

小豆島福田地区にある福武ハウス、休校中の福田小学校の施設を活用した西沢立衛設計の美術館で、アジアからの若手アーティストが参加し作品を展開する。展示準備のため開館はなかったが、芸術祭 2019 に向けてアジアギャラリー等の展示企画を進めた。

⑱. 「美術館・美術施設における美術関連商品の販売及び休憩施設の設置」

ア. 「地中ストア」の運営

オリジナル品と地中美術館に関係する作家・建築家の書籍類を販売した。

イ. 「李禹煥館ストア」の運営

オリジナル商品と李禹煥及び安藤忠雄に関する書籍類を販売した。

ウ. 「直島銭湯 I ♥ 湯ストア」でのオリジナル商品販売

オリジナル商品及び大竹伸朗に関する書籍類を販売した。

エ. 「ANDO MUSEUM ストア」の運営

オリジナル商品と関係する安藤忠雄に関する書籍類を販売した。

オ. 「宮浦ギャラリー六区ストア」の運営

オリジナル商品と関係する作家の書籍類を販売するが、通年閉館中。

カ. 「女根ストア」の運営

オリジナル商品と関係する大竹伸朗に関するグッズ類を販売した（運営委託）。

キ. 「レアンドロカフェ」の運営

女木島の不在の存在のカフェにおいて、飲み物を中心とした軽食を提供した（運営委託）。

ク. 「犬島ストア&カフェ」の運営

犬島精錬所美術館、犬島家プロジェクト、犬島くらしの植物園に關係するオリジナル商品と作家の書籍類を販売した。また、カフェにおいて飲み物を中心とした軽食を提供した。

ケ. 「豊島美術館ストア&カフェ」の運営

オリジナル商品と内藤礼及び西沢立衛に関する書籍類を販売した。また、カフェでは豊島で取れた食材を中心に飲み物・軽食を提供した。

コ. 「ボルタンスキーストア」の運営

オリジナル商品とボルタンスキーに関する書籍類を販売した。

サ. 「豊島横尾館ストア」の運営

オリジナル商品と横尾忠則に関する書籍類を販売した。

シ. 「豊島八百万ラボストア」の運営

オリジナル商品とスプツニ子！に関する書籍類を販売した。

ス. 「針工場ストア」の運営

オリジナル商品と大竹伸朗に関する書籍類を販売した。

セ. 「福武ハウスストア及び福田アジア食堂」の運営

関連作家の書籍・グッズ類を販売するが、芸術祭 2019 に向けて準備中。

ソ. 「地中カフェスペース」の運営委託

(株)ベネッセホールディングスに、地中カフェスペースを減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図った。

⑱. 美術研究の推進

美術館事業の基礎となる美術研究を進めた。特に、寄託を受けている国吉康雄作品に関連し、平成 30 年度は、次のような美術研究・国吉研究を実施した。

- ・第 2 期目となる岡山大学寄付講座「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」へ 5 百万円の寄付を実施（公益財団法人福武教育文化振興財団との共同寄付）。岡山大学では、平成 30 年度も同講座が開講され、延べ 176 名の学生が受講、美術鑑賞教育を学んだ。国吉研究の深化等を期待している。

- ・次の国吉康雄企画展を実施し、国吉康雄の理解と普及に努めた。

- ・平成 30 年 4 月 28 日から 6 月 17 日、栃木県立美術館にて「国吉康雄と清水登之 ふたつの道」

- ・平成 31 年 1 月 5 日から 2 月 3 日、宇城市不知火美術館にて「Exile Dream of Hope 国吉康雄と野田英夫」

- ・平成 31 年 1 月 8 日から 3 月 24 日、熊本県立美術館にて「西へ東へ。藤田嗣治と国吉康雄」

・国吉作品等を題材とした対話型鑑賞法の研究が、引き続き進められている。

⑳. アーカイブの整備継続

美術品台帳、美術保存資料、画像、動画ストレージなど、美術館アーカイブの整備が急速に進んで来ている。また、その活用についても、展示企画、広報誌、新人研修などの場面で広がりを見せてきた。

㉑. 美術施設周辺での地域資源を活用した地域振興の推進、景観保全の推進

美術施設の周辺には、豊かな自然、素晴らしい景観、多様な建築物など、地元の地域資源が現存している。これらを顕在化させた体験プログラムの開発等による地域振興につながる活動や、美術施設周辺における景観保全の動きも進んできた。

B 美術に関するイベント並びに国際交流事業

①. 「シンポジウム」の開催

地域芸術祭は、日本国内のみならず、アジア、世界へと拡がり、大きな潮流になりつつある。当財団福武ハウスのアジア・アート・プラットフォームで関係の深い、台湾、香港、インドネシア、タイ、シンガポール、中国などのアート関係者を集め、地域芸術祭の可能性を探るフォーラムが実施された。

■アジア・アート・フォーラム 2018 in 越後妻有

主催：公益財団法人福武財団、大地の芸術祭実行委員会

日時：平成 30 年 8 月 5 日

場所：新潟県十日町市室野 576 奴奈川キャンパス

テーマ：地域芸術祭の可能性 - アートワールドを超えて

参加者・ゲスト：当財団北川常任理事、毛利嘉孝氏、原久子氏、池田修氏、アジア・アート・プラットフォーム参加団体他

②. 「教育普及及びプログラム」の実施

ア. キッズインミュージアム（対象：小中学生）

五感で作品と触れ合うことにより、自己表現の感性を育むためのプログラムを小中学校と連携し、企画・実施した。地中美術館や李禹煥美術館にて、お絵かきプログラム等も実施した。

イ. プライベートツアー（対象：一般）

より鑑賞を深めたい来場者にギャラリーツアーを開催し、ミュージアムスタッフとともに、美術館を体験するプログラムを提供した。

ウ. ナイトプログラム（対象：一般）

地中美術館の一部作品において開催。日没にかけて異なる表情の作品を鑑賞するプログラムを提供した。

エ. 地域コンテンツとの一体化プログラム（対象：一般）

直島町役場スタッフと共同で直島建築ツアーを実施した。直島建築を通じて、直島の町づくりの思想を伝える機会となった。また、美術施設や地域コンテンツに関連した各種ワークショップや講演会等も実施されている。

③. 「米&食プロジェクト」の実施

直島、豊島において米の栽培を通じ、地域の文化、環境、住民と触れ合うことで地域活性化につながるプログラムを提供した。豊島においては、「食とアート」に結び付く活動とした。

④. 国際交流

□海外広報

海外広報の分野では、引き続き、海外の新聞・雑誌・WEB など多くの広報メディアに取り上げられ、海外 101 件（国内を含めた全体の 27%）の露出があった。主な掲載例としては、「WSJ. Magazine」2018 年 5 月号表紙記事への BASN の掲載、2018 年 4 月の BBC Civilizations での地中美術館の取りあげなどがあった。また、瀬戸内国際芸術祭 2019 の開幕が近づくと、National Geographic Traveller で、“Setouchi”が The Cool List 2019 の第 1 番目に紹介されたり、New York Times で、“Setouchi Islands”が 52 Places to Go in 2019 の第 7 番目に紹介されたりと、海外メジャー媒体での露出が増加してきている。海外からの来館者増加につながるものと期待している。

□中国プロジェクト

・中国の CGPI という社会貢献団体の参加メンバーが、三東省淄博市沂源县桃花島にて「アートによる農村再生」プロジェクトを推進している。CGPI は、これまでも BASN に来島され、直島での活動、瀬戸内国際芸術祭、公益資本主義等を学ばれている。平成 30 年度は、参加メンバーによる第 1 弾の計画が具体化し、最初の美術施設となる桃花島“家プロジェクト”時の花（作家：宮島達男）が完成、2 番目の美術施設も建設中となっている。このプロジェクトは中国側が事業主体であり、当財団は、直島メソッドとその背景にある基本理念の普及という立場でこのプロジェクトに協力している。

・平成 30 年度は、現代アートによる地域振興等をテーマに、当財団理事長による中国講演が数回実施された。平成 30 年 4 月：山東財經大学、平成 30 年 8 月：寧夏回族自治区銀川サミット、平成 30 年 9 月：2018 上海慈善フォーラムなど。

□その他の国際交流

・平成 30 年 9 月 28 日～10 月 2 日、IUCN という国際自然保護団体が直島に来島された。直島での美術施設を視察されるとともに、レセプションでは、当財団より、景観保全を図りつつ現代アートによる地域振興を進めている直島の事例紹介等を行った。

・平成 31 年 3 月、ホノルルビエンナーレにて、直島での現代アートによる地域振興をテーマとした理事長講演会が実施された。

⑤. 瀬戸内国際芸術祭の共催

□瀬戸内国際芸術祭 2019 に向けての準備を進行中

名称：瀬戸内国際芸術祭 2019 (Setouchi Triennale 2019)

テーマ：「海の復権」

開催期間：

春：2019 年 4 月 26 日（金）～ 5 月 26 日（日） 31 日間

夏：2019 年 7 月 19 日（金）～ 8 月 25 日（日） 38 日間

秋：2019年9月28日（土）～11月4日（月） 38日間

会期総計： 107日間

会場：直島、犬島、豊島、男木島、女木島、小豆島、大島、高松港周辺
宇野港周辺、（春）沙弥島、（秋）本島、粟島、伊吹島、高見島

主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

会長：浜田 恵造（香川県知事）

名誉会長：真鍋 武紀（前香川県知事）

総合プロデューサー：福武 総一郎

総合ディレクター：北川 フラム

テーマ：「海の復権」

□瀬戸内国際芸術祭 2019 の新規美術作品の展示他

瀬戸内国際芸術祭 2019 の新規美術作品として、李禹煥美術館アーチ作品追加、福武ハウス美術作品、犬島 A 邸ベアトリス作品などの美術作品展示を行った。平成 30 年度における芸術祭関連支出は総額で 293,248 千円（予算は 285,686 千円）となった。 そのうち、瀬戸内国際芸術祭実行委員会への負担金・協賛金の支払い 100,000 千円（2 か年で 200,000 千円のうちの半分）を実行した。芸術祭関連の支出明細は、次のとおりとなっている。

瀬戸内国際芸術祭2019 芸術祭関連支出 平成30年度実績

（単位：千円）

分類	アートプロジェクト名	平成30年度 2次修正予算	平成30年度 実績	予算差
直島	李禹煥美術館アーチ作品追加	90,006	83,867	-6,138
	家プロはいしゃ大竹タイル画	5,284	5,751	467
	宮浦ギャラリー六区緑川展	0	0	0
犬島	A邸荒神作品撤去	430	430	0
	A邸ベアトリス作品設置	30,420	30,920	500
	C邸半田作品設置	2,181	12,830	10,649
	犬島ステイ	10,024	8,764	-1,259
	犬島くらしの植物園コンポストイレ他	0	0	0
豊島	八百万ラボ作品イベント	0	0	0
	針工場作品展示増強	107	106	-1
	横尾館イベント展示	0	0	0
小豆島	福武ハウス作品展示	36,452	41,786	5,334
	アジア交流・フォーラム・イベント	0	0	0
その他	尾高島測量経費	1,501	0	-1,501
アートPJ合計		176,404	184,454	8,050
活動費		3,505	3,179	-326
アート芸術祭合計		179,910	187,633	7,724
負担金・協賛金他合計		105,776	105,615	-161
芸術祭合計		285,686	293,248	7,562

□瀬戸内フラム塾の開催

瀬戸内国際芸術祭事業の一つとして、瀬戸内フラム塾を開催（主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会／共催：福武財団）。平成30年度は、アジアからの参加者も含め約60人の受講者が参加しており、体験研修及び実践研修が中心。アート制作、イベント・ワークショップ企画運営、地域リソースの掘り起し、食の提供など、地域の活性化を担う人材育成を目的としたプログラムとなっており、この活動が、芸術祭の発展、更には、地域活性化に向けての担い手開拓や移住・定住の促進につながるものと期待している。

□犬島パフォーミングアーツ

瀬戸内国際芸術祭2019の活動の一つとして準備が進められている。

C 美術に関する情報提供並びに出版事業

①. 情報提供事業

活動全体をカバーするホームページ「ベネッセアートサイト直島」を(株)ベネッセホールディングスと共同で運営中。また、ソーシャルメディアを活用し、ツイッター等での情報発信も継続中。

②. 機関紙及び美術に関する出版物の刊行

ア. 広報紙の刊行

今年度は、年4回、以下の広報誌を発行した。

平成30年7月号： 家プロジェクト「角屋」の今

平成30年10月号： 直島銭湯「I♥湯」

平成31年1月号： 豊島・犬島、アートと人

平成31年4月号： Emergence of the Artworks in the Seascape

ベネッセアートサイト直島の活動全体を捉え、活動のコンセプト、メッセージ等を国内、国外に向けて発信している。

イ. カタログ・ハンドブック等の刊行

地中美術館、豊島美術館など、主要施設のカタログ・ハンドブック等を刊行している。施設を訪れる方が感動を持ち帰ることができる刊行物としている。

D 地域振興助成

平成30年度は、助成事業改定後の実質的な初年度となり、新しい枠組みの中、①アートによる地域振興助成、ア 事業助成、イ 研修助成（新規）、②瀬戸内海地域振興助成、また、助成事業としては最後となる、犬島パフォーミングアーツ助成（移行年度）が実施された。

①. アートによる地域振興助成

ア. 事業助成

平成30年度の事業助成については、次の助成を実施した。

公募助成： 15件、24,870千円

また、平成 31 年度に向けての募集・選考活動の準備を進めている。

□助成成果発表会の実施

アートによる地域振興助成に係る成果発表会を、次のとおり実施した。

実施日：平成 30 年 8 月 3 日～5 日

場所：新潟県十日町市珠川 ベルナティオ

参加助成先：32 団体

内容：アートによる地域振興助成の成果発表会を実施した。初日の成果発表はポスターセッション（ポスターとブースを使ったグループ発表）形式で、各助成先より熱のこもった発表が行われ、助成先同士の活発な意見交換も行われた。2 日目は、大地の芸術祭の視察ツアーを実施。芸術祭の現場とその裏側を見て学んだ。3 日目は、ワークショップ。アートプロジェクト継続のために必要な「経営」について、様々な意見交換が行われた。

イ. 研修助成（新規）

助成：6 件、3,000 千円（非公募）

アートによる地域振興を学びたいと来日する海外の方々へ研修助成を実施。6 件中 5 件の方への助成金支払いは、特定非営利活動法人 瀬戸内こえびネットワーク経由で行った。

また、平成 31 年度に向けての募集・選考に向けての準備を進めている。

②. 瀬戸内海地域振興助成

平成 30 年度の瀬戸内海地域振興助成については、次の助成を実施した。

公募助成：7 件、6,130 千円

犬島パフォーミングアーツ助成：1 件、5,000 千円

合計：8 件、11,130 千円

平成 31 年度に向けての募集・選考活動の準備を進めている。

E 地域活動の共催支援

地域の人々が主体的に地方公共団体等と協働し地域において自主的に実施する創造的で文化的な表現活動及び地域間交流に対し、自らが関与（共催支援）して事業を行った。

平成 30 年度共催支援（4 件）

□瀬戸内国際芸術祭 2019 の開催準備

総合プロデューサーとして当財団理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、積極的に活動を支援した。

□大地の芸術祭（新潟県越後妻有）

総合プロデューサーとして当財団理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、積極的に活動を支援した。

□豊島唐櫃 棚田プロジェクト（香川県豊島）

豊島「食プロジェクト」推進協議会の活動を積極的に支援した。

□「瀬戸内全誌」の刊行準備（香川県）

「瀬戸内全誌」の刊行に向け、準備活動を積極的に支援した。

平成 30 年度自主・共催助成として、26,400 千円（上記 4 件合計）を実施した。

F 地域振興のためのファンドレイジング

①. ふるさと納税ファンドレイジングサイトの運営

「ふるさと納税」寄付制度は地域振興に非常に大きな意味を持つと考えられることから、これを支援し紹介するファンドレイジングサイトを運営している。

②. 豊島「食プロジェクト」に関するファンドレイジング

豊島唐櫃 棚田プロジェクトへの共催の一環として、棚田の維持管理のためのファンドレイジングを推進している。また、豊島棚田収穫祭にてファンドレイジングにつなげるためのリスト収集を行っている。

G 管理部門の事業報告

- ①. 瀬戸内国際芸術祭 2019 に向けた適正投資コントロールを推進した。
- ②. 芸術祭テーマ毎の収支管理等、管理会計の整備を進めた。
- ③. 減配の中、財政基盤の再構築と積立金管理の徹底を行った。
- ④. 新報酬制度、新資格制度による人材確保と人材育成を推進した。
- ⑤. 事務所物件の取得・改装と事務所移転による職場環境の整備を進めた。
- ⑥. 美術館職員の住環境整備も進めた。
- ⑦. 規程類の改訂等によるガバナンス強化とリスク管理を徹底した。
- ⑧. 理事会・評議員会の確実な実施による公益法人組織運営を推進した。
- ⑨. ベネッセアートサイト直島内各組織が一体となった会議体の運営を実行した。

H 附属明細書

附属明細書に記載する事項なし。

II. 処務の概要

1) 役員等に関する事項

(平成31年3月31日現在)

職名	常勤 非常勤	氏名	就任(重任) 年月日	担当職務	報酬	現職	備考
代表理事 (理事長)	非常勤	福武 總一郎	平成28年06月18日	業務の統括 地中美術館館長	有	(株)ベネッセホールディングス 名誉顧問	
代表理事 (副理事長)	非常勤	福原 賢一	平成28年06月18日	理事長代理	有	(株)ベネッセホールディングス 代表取締役副会長	
代表理事 (副理事長)	非常勤	福武 英明	平成28年06月18日	理事長代理	有	(株)ベネッセホールディングス 取締役	
業務執行理事 (常任理事)	非常勤	北川 フラム	平成28年06月18日	地中美術館館長代理	有	(株)アートフロントギャラリー 代表取締役会長	
理事	非常勤	安藤 忠雄	平成28年06月18日		有	(株)安藤忠雄建築研究所 代表取締役	
理事	非常勤	梅原 利之	平成28年06月18日		有	四国旅客鉄道(株) 顧問	
理事	非常勤	樺山 紘一	平成28年06月18日		有	印刷博物館 館長	
理事	非常勤	小林 眞一	平成30年06月09日		有	直島町長	
理事	非常勤	真鍋 武紀	平成28年06月18日		有	前香川県知事	
監事	非常勤	尾尻 哲洋	平成28年06月18日		有	辻・本郷税理士法人 特別顧問 税理士	
監事	非常勤	沼 澄夫	平成28年06月18日		有	沼澄夫税理士事務所 代表 税理士	

※平成31年3月31日現在の評議員数は9名、選考委員数は10名です。

2) 職員に関する事項

(平成31年3月31日現在)

職名	常勤 非常勤	氏名	採用(就任) 年月日	担当職務	報酬	備考
事務局長	常勤	宇野 恵信	平成27年09月01日	事業統括	有	アート・助成部門統括を兼務
事務局次長	非常勤	松浦 俊明	平成26年09月01日	事業統括	有	財務部門統括を兼務
事務局次長	常勤	脇 清美	平成29年08月01日	事業統括	有	アドミニ・広報部門統括を兼務
部長	常勤	岩下 洋子	平成30年7月01日	運営部門統括	有	(株)ベネッセコーポレーションより出向
部長	常勤	石井 一夫	平成23年01月01日	経理部門統括	有	
部長	常勤	山根 孝規	平成16年06月01日	総務・人事部門統括	有	
部長代理	常勤	後藤 憲子	平成26年04月01日	助成担当	有	(株)ベネッセコーポレーションより出向

※平成31年3月31日現在の職員数は35名、契約職員は46名、アルバイト・パートは45名です。

3) 会議等に関する事項

①. 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 30 年 5 月 22 日	<input type="checkbox"/> 第 45 回理事会（決議の省略） 平成 29 年度における法人会計から公益目的事業会計への財源 振替承認の件 平成 29 年度事業報告・決算報告承認の件 主たる事務所の所在地変更の件 第 26 回定時評議員会開催の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
平成 30 年 6 月 9 日	<input type="checkbox"/> 第 46 回理事会 理事長・副理事長・常任理事選任の件 平成 29 年度事業報告・決算報告についての内閣府への電子申 請の件 平成 30 年度修正収支予算承認の件 平成 30 年度関連当事者との取引承認の件 規定類改定承認の件 地域振興助成に係る募集要項承認の件 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告（資金運用報告含 む） 今後のスケジュール案内	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 該当理事より報告 事務局より報告
平成 30 年 6 月 16 日	<input type="checkbox"/> 第 47 回理事会（決議の省略） 議決権行使承認の件（3 分の 2 以上の特別決議）	全会一致で承認可決
平成 30 年 8 月 31 日	<input type="checkbox"/> 第 48 回理事会（決議の省略） 福武財団事務局長交代の件	全会一致で承認可決
平成 30 年 11 月 8 日	<input type="checkbox"/> 第 49 回理事会（決議の省略） 豊島美術館周辺の景観保持のための豊島蛇山土地購入の件 美術作品 2 点購入の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
平成 30 年 11 月 29 日	<input type="checkbox"/> 第 50 回理事会（決議の省略） 美術作品 2 点購入の件	全会一致で承認可決

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 31 年 3 月 2 日	<input type="checkbox"/> 第 51 回理事会 美術作品購入の件 (WANG GUANGYI 作品 1 点) 美術作品購入の件 (ZULKIFLE MAHMUD 作品 1 点) 地域振興助成および地域活動の共催支援 (自主・共催助成) に 係る助成先承認の件 平成 30 年度第 2 次修正予算承認の件 草間彌生作品現物寄付受入の件 平成 31 年度事業計画・収支予算承認の件 平成 31 年度「資金調達及び設備投資の見込みについて」承認 の件 平成 31 年度事業計画・収支予算等についての内閣府への電子 申請の件 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告 (資金運用報告含 む) 瀬戸内国際芸術祭 2019 の準備状況報告 岡山大学国吉康雄寄付講座の状況報告 今後のスケジュール案内	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 該当理事より報告 事務局より報告 事務局より報告 事務局より報告

②. 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 30 年 6 月 9 日	<input type="checkbox"/> 第 26 回定時評議員会 評議員選任の件 理事・監事選任の件 退職評議員への退職慰労金支給及び支給額承認の件 定款変更の件 平成 29 年度における法人会計から公益目的事業会計への財 源振替承認の件 平成 29 年度事業報告・決算報告承認の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決

4) 許可、認定、承認、証明等に関する事項

申請年月日	申請事項	認定等年月日	備考
該当なし			

5) 契約に関する事項

契約年月日	契約相手先	契約の概要
平成 30 年 4 月 1 日	ARTISAN 合同会社	制作・保守に関する契約
平成 30 年 7 月 1 日	(株)イトーキ	工事請負契約
平成 30 年 11 月 20 日	(株)ガイアパワー	不動産売買契約

6) 寄附金に関する事項

寄付年月日	相手先	寄付目的	寄付金額 (円)	備考
平成 30 年 11 月 6 日	福武家の信託財産	施設運営	34,031,232	現金
平成 30 年 12 月 17 日	福武家の信託財産	施設運営	56,426,530	現金

7) 行政庁（内閣府）からの指示事項

指示年月日	指示事項	履行状況
該当なし		

8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

9) その他重要事項

該当なし

平成 30 年度決算報告書（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

I. 貸借対照表

II. 正味財産増減計算書

III. 正味財産増減計算書内訳表

IV. 財務諸表に対する注記

V. 附属明細書

VI. 財産目録

VII. 予算対比正味財産増減計算書

VIII. 予算対比収支計算書（収支ベース）

IX. 島別施設別収支計算書 【参考用】

※ 「監査報告書」

I. 貸借対照表 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

I - 1) 貸借対照表

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	120,214,678	108,791,706	11,422,972
売掛金	42,053,344	17,441,061	24,612,283
未収金	19,680,604	926,941	18,753,663
棚卸資産	68,136,025	73,048,160	△ 4,912,135
前払金	7,179,980	4,931,105	2,248,875
前払費用	3,452,787	3,674,502	△ 221,715
立替金	1,285,200	2,666,004	△ 1,380,804
仮払金	0	939,000	△ 939,000
流動資産合計	262,002,618	212,418,479	49,584,139
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	22,800,000	22,800,000	0
美術品	17,358,830,475	17,358,830,475	0
普通預金	94,345,257	25,405,289	68,939,968
投資有価証券	20,407,760,858	26,666,942,336	△ 6,259,181,478
基本財産合計	37,883,736,590	44,073,978,100	△ 6,190,241,510
(2)特定資産			
芸術祭事業積立資産	274,880,460	470,463,247	△ 195,582,787
助成事業積立資産	110,055,398	110,053,886	1,512
修繕積立資産	170,204,448	305,031,616	△ 134,827,168
事務所建設積立資産	30,000,000	177,300,000	△ 147,300,000
特定資産合計	585,140,306	1,062,848,749	△ 477,708,443
(3)その他の固定資産			
土地	437,733,888	366,844,221	70,889,667
建物	3,223,291,527	3,147,802,976	75,488,551
建設附属設備	205,752,953	126,279,341	79,473,612
構築物	260,162,555	293,229,801	△ 33,067,246
機械装置	3,839,484	5,628,959	△ 1,789,475
車両運搬具	196,992	1,046,257	△ 849,265
船舶	1	1	0
什器備品	31,097,322	11,626,710	19,470,612
美術品	1,266,133,853	1,148,983,711	117,150,142
ソフトウェア	978,641	1,752,740	△ 774,099
建設仮勘定	202,533,814	143,194,596	59,339,218
敷金	11,210,000	11,210,000	0
その他投資等	201,810	201,810	0
その他の固定資産合計	5,643,132,840	5,257,801,123	385,331,717
固定資産合計	44,112,009,736	50,394,627,972	△ 6,282,618,236
資産合計	44,374,012,354	50,607,046,451	△ 6,233,034,097
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	13,659,378	10,696,203	2,963,175
未払金	13,200,000	19,800,000	△ 6,600,000
未払費用	129,452,383	64,808,688	64,643,695
預り金	8,658,815	8,462,908	195,907
前受金	675,560	675,560	0
未払消費税等	0	8,795,000	△ 8,795,000
流動負債合計	165,646,136	113,238,359	52,407,777
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	165,646,136	113,238,359	52,407,777
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	38,438,876,896	44,959,526,849	△ 6,520,649,953
(うち基本財産への充当額)	(37,883,736,590)	(44,073,978,100)	△ 6,190,241,510
(うち特定資産への充当額)	(555,140,306)	(885,548,749)	△ 330,408,443
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	5,769,489,322	5,534,281,243	235,208,079
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(30,000,000)	(177,300,000)	△ 147,300,000
正味財産合計	44,208,366,218	50,493,808,092	△ 6,285,441,874
負債及び正味財産合計	44,374,012,354	50,607,046,451	△ 6,233,034,097

Ⅱ. 正味財産増減計算書（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

Ⅱ-1) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①. 基本財産運用益	[395,448,058]	[351,925,585]	[43,522,473]
基本財産受取利息	47,847,058	31,653,585	16,193,473
基本財産受取配当金	347,601,000	320,272,000	27,329,000
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
③. 事業収益	[821,345,989]	[829,146,266]	[△ 7,800,277]
④. 受取寄附金	[541,477,762]	[180,164]	[541,297,598]
受取寄附金	90,457,762	180,164	90,277,598
受取寄附金振替額	451,020,000	0	451,020,000
⑤. 雑収益	[418,290]	[973,581]	[△ 555,291]
受取利息	1,936	2,098	△ 162
雑収益	416,354	971,483	△ 555,129
経常収益計	1,758,690,099	1,182,225,596	576,464,503
(2) 経常費用			
①. 事業費	[1,398,171,292]	[1,081,784,884]	[316,386,408]
期首棚卸高	73,048,160	79,211,756	△ 6,163,596
仕入高	109,904,193	127,644,150	△ 17,739,957
期末棚卸高	△ 68,136,025	△ 73,048,160	4,912,135
給与手当	311,539,434	266,288,596	45,250,838
臨時雇賃金	72,394,974	67,037,383	5,357,591
退職給付費用	4,383,753	4,481,344	△ 97,591
福利厚生費	57,802,284	49,543,799	8,258,485
旅費交通費	29,757,616	17,070,101	12,687,515
通信運搬費	13,111,148	13,788,741	△ 677,593
什器備品費	1,372,468	391,120	981,348
消耗品費	17,505,099	10,714,726	6,790,373
減価償却費	170,575,796	171,423,944	△ 848,148
修繕費	191,251,077	66,517,768	124,733,309
印刷製本費	5,983,471	6,131,827	△ 148,356
燃料費	2,553,542	2,346,873	206,669
光熱水料費	27,872,010	27,293,956	578,054
賃借料	19,866,792	21,352,834	△ 1,486,042
保険料	16,342,022	14,161,210	2,180,812
諸謝金	17,362,306	17,631,697	△ 269,391
租税公課	17,695,275	44,841,799	△ 27,146,524
負担金	95,000,000	0	95,000,000
助成費	65,347,154	68,966,000	△ 3,618,846
寄附金	10,000,000	5,000,000	5,000,000
宣伝広告費	59,760,997	19,558,463	40,202,534
会議費	2,720,559	1,155,547	1,565,012
交際費	3,269,573	2,752,296	517,277
委託費	54,991,939	41,809,602	13,182,337
雑費	14,895,675	7,717,512	7,178,163

Ⅱ - 2) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
②. 管理費	[125,310,728]	[113,993,031]	[11,317,697]
役員報酬	700,000	700,000	0
給与手当	46,797,804	52,311,408	△ 5,513,604
臨時雇賃金	1,843,680	314,365	1,529,315
役員退職給付費用	100,000	100,000	0
退職給付費用	1,005,399	1,077,871	△ 72,472
福利厚生費	8,782,002	9,690,607	△ 908,605
旅費交通費	14,026,758	11,597,225	2,429,533
通信運搬費	4,388,324	4,600,070	△ 211,746
消耗品費	7,004,799	507,174	6,497,625
減価償却費	5,412,835	523,581	4,889,254
修繕費	1,259,040	555,862	703,178
印刷製本費	1,700,966	780,416	920,550
燃料費	327,455	337,299	△ 9,844
光熱水料費	1,046,320	113,445	932,875
賃借料	5,083,128	5,391,094	△ 307,966
保険料	356,590	328,815	27,775
諸謝金	3,771,636	3,625,272	146,364
租税公課	2,154,500	922,021	1,232,479
寄附金	0	500,000	△ 500,000
宣伝広告費	0	500,000	△ 500,000
会議費	6,816,933	8,996,007	△ 2,179,074
交際費	1,047,193	1,580,479	△ 533,286
委託費	10,112,683	7,414,549	2,698,134
雑費	1,572,683	1,525,471	47,212
経常費用計	1,523,482,020	1,195,777,915	327,704,105
評価損益等計上前期経常増減額	235,208,079	△ 13,552,319	248,760,398
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	235,208,079	△ 13,552,319	248,760,398
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①. 有価証券売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①. 有価証券売却損	0	0	0
②. 固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	235,208,079	△ 13,552,319	248,760,398
一般正味財産期首残高	5,534,281,243	5,547,833,562	△ 13,552,319
一般正味財産期末残高	5,769,489,322	5,534,281,243	235,208,079
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	△ 6,203,944,961	1,586,850,479	△ 7,790,795,440
特定資産評価損益等	△ 190,000	△ 283,957	93,957
基本財産受取利息	61,550,509	56,670,942	4,879,567
基本財産受取配当金	311,670,000	273,190,000	38,480,000
特定資産受取利息	132,557	905,700	△ 773,143
受取寄付金	0	5,649,000,000	△ 5,649,000,000
一般正味財産への振替額	△ 689,868,058	△ 146,725,585	△ 543,142,473
当期指定正味財産増減額	△ 6,520,649,953	7,419,607,579	△ 13,940,257,532
指定正味財産期首残高	44,959,526,849	37,539,919,270	7,419,607,579
指定正味財産期末残高	38,438,876,896	44,959,526,849	△ 6,520,649,953
Ⅲ 正味財産期末残高	44,208,366,218	50,493,808,092	△ 6,285,441,874

Ⅲ. 正味財産増減計算書内訳書（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

Ⅲ-1) 正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①. 基本財産運用益	[196,537,058]	[196,537,058]	[198,911,000]	[0]	[395,448,058]
基本財産受取利息	47,847,058	47,847,058	0	0	47,847,058
基本財産受取配当金	148,690,000	148,690,000	198,911,000	0	347,601,000
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
③. 事業収益	[821,345,989]	[821,345,989]	[0]	[0]	[821,345,989]
④. 受取寄附金	[541,477,762]	[541,477,762]	[0]	[0]	[541,477,762]
受取寄附金	90,457,762	90,457,762	0	0	90,457,762
受取寄附金振替額	451,020,000	451,020,000	0	0	451,020,000
⑤. 雑収益	[365,090]	[365,090]	[53,200]	[0]	[418,290]
受取利息	1,936	1,936	0	0	1,936
雑収益	363,154	363,154	53,200	0	416,354
経常収益計	1,559,725,899	1,559,725,899	198,964,200	0	1,758,690,099
(2) 経常費用					
①. 事業費	[1,398,171,292]	[1,398,171,292]		[0]	[1,398,171,292]
期首棚卸高	73,048,160	73,048,160		0	73,048,160
仕入高	109,904,193	109,904,193		0	109,904,193
期末棚卸高	△ 68,136,025	△ 68,136,025		0	△ 68,136,025
給与手当	311,539,434	311,539,434		0	311,539,434
臨時雇賃金	72,394,974	72,394,974		0	72,394,974
退職給付費用	4,383,753	4,383,753		0	4,383,753
福利厚生費	57,802,284	57,802,284		0	57,802,284
旅費交通費	29,757,616	29,757,616		0	29,757,616
通信運搬費	13,111,148	13,111,148		0	13,111,148
什器備品費	1,372,468	1,372,468		0	1,372,468
消耗品費	17,505,099	17,505,099		0	17,505,099
減価償却費	170,575,796	170,575,796		0	170,575,796
修繕費	191,251,077	191,251,077		0	191,251,077
印刷製本費	5,983,471	5,983,471		0	5,983,471
燃料費	2,553,542	2,553,542		0	2,553,542
光熱水料費	27,872,010	27,872,010		0	27,872,010
賃借料	19,866,792	19,866,792		0	19,866,792
保険料	16,342,022	16,342,022		0	16,342,022
諸謝金	17,362,306	17,362,306		0	17,362,306
租税公課	17,695,275	17,695,275		0	17,695,275
負担金	95,000,000	95,000,000		0	95,000,000
助成費	65,347,154	65,347,154		0	65,347,154
寄附金	10,000,000	10,000,000		0	10,000,000
宣伝広告費	59,760,997	59,760,997		0	59,760,997
会議費	2,720,559	2,720,559		0	2,720,559
交際費	3,269,573	3,269,573		0	3,269,573
委託費	54,991,939	54,991,939		0	54,991,939
雑費	14,895,675	14,895,675		0	14,895,675

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1	小計			
②. 管理費			[125,310,728]	[0]	[125,310,728]
役員報酬			700,000	0	700,000
給与手当			46,797,804	0	46,797,804
臨時雇賃金			1,843,680	0	1,843,680
役員退職給付費用			100,000	0	100,000
退職給付費用			1,005,399	0	1,005,399
福利厚生費			8,782,002	0	8,782,002
旅費交通費			14,026,758	0	14,026,758
通信運搬費			4,388,324	0	4,388,324
消耗品費			7,004,799	0	7,004,799
減価償却費			5,412,835	0	5,412,835
修繕費			1,259,040	0	1,259,040
印刷製本費			1,700,966	0	1,700,966
燃料費			327,455	0	327,455
光熱水料費			1,046,320	0	1,046,320
賃借料			5,083,128	0	5,083,128
保険料			356,590	0	356,590
諸謝金			3,771,636	0	3,771,636
租税公課			2,154,500	0	2,154,500
会議費			6,816,933	0	6,816,933
交際費			1,047,193	0	1,047,193
委託費			10,112,683	0	10,112,683
雑費			1,572,683	0	1,572,683
経常費用計	1,398,171,292	1,398,171,292	125,310,728	0	1,523,482,020
評価損益等調整前当期経常増減額	161,554,607	161,554,607	73,653,472	0	235,208,079
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	161,554,607	161,554,607	73,653,472	0	235,208,079
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
有価証券売却損	0	0	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	161,554,607	161,554,607	73,653,472	0	235,208,079
他会計振替額	159,304,690	159,304,690	△ 159,304,690	0	0
当期一般正味財産増減額	320,859,297	320,859,297	△ 85,651,218	0	235,208,079
一般正味財産期首残高	5,209,733,395	5,209,733,395	324,547,848	0	5,534,281,243
一般正味財産期末残高	5,530,592,692	5,530,592,692	238,896,630	0	5,769,489,322
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
基本財産評価損益等	△ 3,515,216,961	△ 3,515,216,961	△ 2,688,728,000	0	△ 6,203,944,961
特定資産評価損益等	△ 190,000	△ 190,000	0	0	△ 190,000
基本財産受取利息	61,550,509	61,550,509	0	0	61,550,509
基本財産受取配当金	269,359,000	269,359,000	42,311,000	0	311,670,000
特定資産受取利息	132,557	132,557	0	0	132,557
受取寄付金	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 647,557,058	△ 647,557,058	△ 42,311,000	0	△ 689,868,058
当期指定正味財産増減額	△ 3,831,921,953	△ 3,831,921,953	△ 2,688,728,000	0	△ 6,520,649,953
指定正味財産期首残高	34,382,948,849	34,382,948,849	10,576,578,000	0	44,959,526,849
指定正味財産期末残高	30,551,026,896	30,551,026,896	7,887,850,000	0	38,438,876,896
Ⅲ 正味財産期末残高	36,081,619,588	36,081,619,588	8,126,746,630	0	44,208,366,218

IV. 財務諸表に対する注記

1) 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2) 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 … 償却原価法（定額法）によっている。

その他の有価証券

市場価格のあるもの … 期末日の市場価格に基づく時価法（売上原価は移動平均法により算定）によっている。

市場価格のないもの … 移動平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却方法

建物 … 定額法によっている。

建物附属設備 … 定率法によっている。

構築物 … 定率法によっている。

機械装置 … 定率法によっている。

車両運搬具 … 定率法によっている。

船舶 … 定率法によっている。

什器備品 … 定率法によっている。

ソフトウェア（自社利用）… 法人内における利用可能期間（主として5年）に基づく定額法によっている。

(4) 外貨建預金の評価方法

決算日の為替相場に基づく時価法によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	22,800,000	0	0	22,800,000
美術品	17,358,830,475	0	0	17,358,830,475
普通預金	25,405,289	68,939,968	0	94,345,257
投資有価証券	26,666,942,336	43,440,348	6,302,621,826	20,407,760,858
小計	44,073,978,100	112,380,316	6,302,621,826	37,883,736,590
特定資産				
芸術祭事業積立資産	470,463,247	53,357,213	248,940,000	274,880,460
助成事業積立資産	110,053,886	1,512	0	110,055,398
修繕積立資産	305,031,616	67,442,832	202,270,000	170,204,448
事務所建設積立資産	177,300,000	0	147,300,000	30,000,000
小計	1,062,848,749	120,801,557	598,510,000	585,140,306
合 計	45,136,826,849	233,181,873	6,901,131,826	38,468,876,896

4) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
土地	22,800,000	(22,800,000)	(0)	-
美術品	17,358,830,475	(17,358,830,475)	(0)	-
普通預金	94,345,257	(94,345,257)	(0)	-
投資有価証券	20,407,760,858	(20,407,760,858)	(0)	-
小計	37,883,736,590	(37,883,736,590)	(0)	-
特定資産				
芸術祭事業積立資産	274,880,460	(274,880,460)	(0)	-
助成事業積立資産	110,055,398	(110,055,398)	(0)	-
修繕積立資産	170,204,448	(170,204,448)	(0)	-
事務所建設積立資産	30,000,000	(0)	(30,000,000)	-
小計	585,140,306	(555,140,306)	(30,000,000)	-
合 計	38,468,876,896	(38,438,876,896)	(30,000,000)	-

5) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	4,293,458,016	1,070,166,489	3,223,291,527
建物付属設備	494,065,035	288,312,082	205,752,953
構築物	669,025,500	408,862,945	260,162,555
機械装置	19,909,237	16,069,753	3,839,484
車両運搬具	4,132,318	3,935,326	196,992
船舶	3,940,000	3,939,999	1
什器備品	123,864,055	92,766,733	31,097,322
ソフトウェア	17,051,276	16,072,635	978,641
合 計	5,625,445,437	1,900,125,962	3,725,319,475

6) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	当期末残高
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	47,847,058
基本財産受取配当金	642,021,000
合 計	689,868,058

7) 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	対象者	法人等の名称	関係内容		住所	資産総額 (単位：百万円)	事業の内容	議決権の 所有割合	取引の内容	取引金額 (単位：円)	科目	期末残高 (単位：円)														
			役員の 兼務等	事業上 の関係																						
代表理事 理事長	福武 総一郎	(株)パセイル ディングス	名誉顧問	-	岡山市北 区南方3- 7-17	504,682	教育 出版他	6.7%	パセイル他利用料	9,406,318	未払費用	832,846														
									事務所賃借料	641,930	-	0														
									李美術館地代	2,064,414	前払費用	199,487														
									地中マッペンター地代	102,000	前払費用	17,000														
	代表理事 副理事長		福武 英明						(株)パセイル ディングス	取締役	-	岡山市北 区南方3- 7-17	504,682	教育 出版他	6.7%	宮浦駐車場地代	80,016	-	0							
																関連書籍 仕入他	311,084	買掛金	49,140							
																商品他販売収入	9,755,763	-	0							
																地中加工賃料収入	8,106,720	前受金	675,560							
代表理事 副理事長	福原 賢一	(株)パセイル ディングス	代表 取締役 副会長	-	岡山市北 区南方3- 7-17	504,682	教育 出版他	6.7%		アートコレクション報酬						10,000,000	-	0								
										上記に係る旅費						149,366	未払費用	68,556								
										美術施設 運営委託等						9,398,937	前払金	6,174,892								
										アートイベント 運営委託等						176,028	-	0								
	業 務 執 行 理 事		北川 フラム						(株)現代企画 室	代表 取締役 会 長	-	東京都渋谷 区猿楽 町29-18	-	美術 全般の デザイン・ 制作等	-	関連書籍仕入	52,084	-	0							
																特定非営利 活動法人 瀬戸内こえ びネットワーク	代表理事	-	香川県 高松市ウ ナト1-1	-	瀬戸内国 際芸術祭 活動支援	-	美術施設 運営委託等	9,398,937	前払金	6,174,892
																(株)アートフロント ギャラリー	代表 取締役 会 長	-	東京都渋谷 区猿楽 町29-18	-	美術 全般の デザイン・ 制作等	-	アートイベント 運営委託等	176,028	-	0
																現代企画 室	代表 取締役	-	東京都渋谷 区桜丘町 15-8-204	-	美術書の 出版	-	関連書籍仕入	52,084	-	0
監 事	尾尻 哲洋	辻・本郷税 理士法人	特 別 顧 問	-	東京都新 宿区西新 宿1-25-1	-	会計事務 サービス	-		業務指導料						1,944,000	-	0								
										評議員						福武 美津子	(株)カクリス ホレーション	代 表	-	香川県小 豆郡土庄 町豊島家 浦2309	-	加工・レスト ウ	-	会議等食事代	18,500	-
評議員	笠原 良二	(株)直島文化 村	代表取締 役社長	-	香川県香 川郡直島 町364番 地1	-	宿泊施 設・アート施 設の運営 管理	-		横尾館賃料														600,000	前払費用	50,000
										鑑賞料収入						1,085,202	売掛金	91,368								
									商品他販売収入	1,501,622	売掛金	94,112														
									美術施設 運営委託等	9,455,000	未払費用	525,000														
出向者費用	9,960,000		未払費用						830,000																	

8) 公益目的保有財産の明細

公益目的保有財産の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
基本財産 土地		32,550 m ² 香川県直島町立石3447-1 22,800,000	公1
基本財産 美術品	直島町立石 地中美術館内 モネ5、タレル3、デマリヤ1 17,358,830,475		公1
基本財産 普通預金		中国銀行富田町支店 普通預金口座 94,345,257	公1
基本財産 投資有価証券		株式会社パセリール・インクス株式 3,664,400株 10,535,150,000	公1
基本財産 投資有価証券		公社債、投資信託、 不動産投資証券他 1,984,760,858	公1
その他固定資産 土地		407,753 m ² 直島、豊島、犬島 419,730,878	公1
その他固定資産 美術品		直島、豊島、犬島 李、内藤、大竹、ボルタンスキー作品他 1,117,801,692	公1
その他固定資産 建物		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 3,052,546,567	公1
その他固定資産 建物附属設備		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 203,950,595	公1
その他固定資産 構築物		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 260,162,555	公1
その他固定資産 車両運搬具		直島、豊島、犬島他 軽トラック 196,991	公1
その他固定資産 工具・器具・備品		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 17,848,409	公1
その他固定資産 機械装置		直島、豊島 銭湯、ボルタンスキー他 3,839,484	公1
その他固定資産 ソフトウェア		直島 販売管理システム他 978,641	公1
その他固定資産 建設仮勘定		直島、豊島、犬島 李作品他 202,533,814	公1
その他固定資産 敷金		豊島、犬島 美術施設土地敷金他 11,210,000	公1
その他固定資産 その他投資等		直島、犬島 美術館AED保証金他 27,720	公1
合 計	17,358,830,475	17,927,883,461	

注： 公1は、「文化・芸術による地域社会の発展に関する事業」

注： 公益認定後取得不可欠特定財産はありません。

9) その他

(1) 金融商品の状況に関する注記

1. 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品（仕組債、仕組預金）のみであり、一定の金額を限度としている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

2. 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ債券（仕組債）であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）にさらされている。

3. 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。

V. 附属明細書

1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	土地	22,800,000	0	0	22,800,000
	美術品	17,358,830,475	0	0	17,358,830,475
	普通預金	25,405,289	68,939,968	0	94,345,257
	投資有価証券	26,666,942,336	43,440,348	6,302,621,826	20,407,760,858
	基本財産計	44,073,978,100	112,380,316	6,302,621,826	37,883,736,590
特定資産	芸術祭事業積立資産	470,463,247	53,357,213	248,940,000	274,880,460
	助成事業積立資産	110,053,886	1,512	0	110,055,398
	修繕積立資産	305,031,616	67,442,832	202,270,000	170,204,448
	事務所建設積立資産	177,300,000	0	147,300,000	30,000,000
	特定資産計	1,062,848,749	120,801,557	598,510,000	585,140,306

VI. 財産目録（平成 31 年 3 月 31 日現在）

VI-1) 財産目録

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	現金手許有高	運転資金として	11,071,875
	中国銀行/富田町支店 (No.1660533)	運転資金として	3,198,346
	中国銀行/富田町支店 (No.1727514)	運転資金として	6,225,311
	中国銀行/富田町支店 (No.1790569)	運転資金として	15,660,124
	中国銀行/富田町支店 (No.1826181)	運転資金として	1,669,679
	百十四銀行/直島支店 (No.0143887)	運転資金として	23,959,677
	百十四銀行/直島支店 (No.0145413)	運転資金として	14,496,597
	百十四銀行/直島支店 (No.0153472)	運転資金として	1,646,556
	ゆうちょ銀行/16330 (No.11114291)	運転資金として	1,578,978
	ゆうちょ銀行/16330 (No.7923031)	運転資金として	2,707
	ゆうちょ銀行/16390 (No.4775561)	運転資金として	250,825
	ゆうちょ銀行/16360 (No.5409981)	運転資金として	7,048,842
	ゆうちょ銀行/16310 (No.10368451)	運転資金として	37,727
	ゆうちょ銀行/16310 (No.11492091)	運転資金として	21,661
	楽天銀行/第一営業支店 (No.7331905)	運転資金として	33,345,773
売掛金		事業収入の売掛金	42,053,344
未収金		立替請求の未収金	19,680,604
棚卸資産	地中美術館ストア商品		23,457,157
	李美術館ストア商品		8,314,665
	直島銭湯「I♥湯」商品		7,587,186
	ANDO MUSEUM スタ商品		399,921
	六区ストア商品		163,577
	女根ストア商品		8,964
	犬島「精錬所」ストア・カフェ商品		5,004,458
	豊島美術館ストア・カフェ商品		17,154,312
	ポルトンスキーストア商品		3,557,478
	横尾館ストア商品		870,156
	八百万ラボストア商品		1,438,817
	針工場ストア商品		179,334
前払金		事業費・管理費に係る前払金	7,179,980
前払費用		事業費・管理費に係る前払費用	3,452,787
立替金		事業費・管理費に係る立替金	1,285,200
流動資産合計			262,002,618
(固定資産)			
基本財産			
土地	香川県直島町立石3447-1 (9,434㎡) 、 3448-1 (4,003㎡) 、 3449-1 (14,415㎡) 、 3454-1 (4,698㎡)	公的目的事業に使用している	22,800,000
美術品	絵画: 加ト・ネ、 「睡蓮の池」、 200×300cm×2面	公益目的事業を行うために不可欠な特定の財産として使用している	6,000,000,000
	絵画: 加ト・ネ、 「睡蓮」、 200×200cm	同上	3,000,000,000
	絵画: 加ト・ネ、 「睡蓮-柳の反映」、 200×100cm	同上	1,900,000,000
	絵画: 加ト・ネ、 「睡蓮の池」、 200×100cm	同上	1,900,000,000
	絵画: 加ト・ネ、 「睡蓮-草の茂み」、 200×213cm	同上	4,188,830,475
	室内インスタレーション: ウォルター・デ・マリア、 「タイム、タイム、ノ・タイム」	同上	340,000,000
	室内インスタレーション: ジェームス・タレル、 「オープンスカイ」	同上	10,000,000
	室内インスタレーション: ジェームス・タレル、 「アワム、ヘルプフル」	同上	10,000,000
	室内インスタレーション: ジェームス・タレル、 「オープンファイルド」	同上	10,000,000

VI-2) 財産目録

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
基本財産	普通預金	中国銀行／富田町支店 (No.1826181)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	94,337,094	
		USドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (No.1005348)	同上	8,163	
	投資有価証券	㈱ベネッセホールディングス株式3,664,400株	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	10,535,150,000	
		㈱ベネッセホールディングス株式2,743,600株	運用益を管理業務の財源として使用している	7,887,850,000	
		公社債（第3回ソフトバンクG利払繰延期限前償還劣後債他2銘柄）	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	267,250,000	
		外貨建債券（アップル豪ドル外貨建債券他22銘柄）	同上	1,025,076,451	
		不動産投資証券（GLP投資証券他17銘柄）	同上	453,636,137	
		投資信託他（MAXIS JPX 日経インデックス400他5銘柄）	同上	238,798,270	
	特定資産	芸術祭事業積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.1660533)	公益目的事業（芸術祭事業）実施のため	179,160,460
			日本企業外債ファンド・ヘッジあり（大和／岡山支店）	同上	95,720,000
助成事業積立資産		普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.1727514)	公益目的事業（助成事業）実施のため	110,055,397	
		NZドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (No.1005363)	同上	1	
修繕積立資産		普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.1660533)	公益目的事業（修繕）実施のため	170,204,448	
事務所建設積立資産		普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.1660533)	管理業務の財源とするため	30,000,000	

VI-3) 財産目録

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他の固定資産	土地		公益目的事業及び管理業務に使用	437,733,888
	建物		公益目的事業及び管理業務に使用	3,223,291,527
	建物附属設備		公益目的事業及び管理業務に使用	205,752,953
	構築物		公益目的事業に使用	260,162,555
	機械装置		公益目的事業に使用	3,839,484
	車両運搬具		公益目的事業及び管理業務に使用	196,992
	船舶		管理業務に使用	1
	什器備品		公益目的事業及び管理業務に使用	31,097,322
	美術品		公益目的事業に使用	1,266,133,853
	ソフトウェア		公益目的事業に使用	978,641
	建設仮勘定		公益目的事業に使用	202,533,814
	敷金		公益目的事業に使用	11,210,000
	その他投資等		公益目的事業及び管理業務に使用	201,810
	固定資産合計			44,112,009,736
資産合計			44,374,012,354	
(流動負債)				
買掛金		事業費に係る買掛金	13,659,378	
未払金		事業費に係る未払金	13,200,000	
未払費用		事業費及び管理費に係る未払費用	129,452,383	
預り金		事業費及び管理費に係る預り金	8,658,815	
前受金		事業費に係る前受金	675,560	
流動負債合計			165,646,136	
(固定負債)				
固定負債合計			0	
負債合計			165,646,136	
正味財産			44,208,366,218	

Ⅶ. 予算対比正味財産増減計算書（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

Ⅶ-1) 予算対比正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	予算	決算	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①. 基本財産運用益	[393,055,619]	[395,448,058]	[△ 2,392,439]
基本財産受取利息	49,144,619	47,847,058	1,297,561
基本財産受取配当金	343,911,000	347,601,000	△ 3,690,000
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
③. 事業収益	[816,040,504]	[821,345,989]	[△ 5,305,485]
④. 受取寄附金	[560,807,889]	[541,477,762]	[19,330,127]
受取寄附金	90,457,762	90,457,762	0
受取寄附金振替額	470,350,127	451,020,000	19,330,127
⑤. 雑収益	[220,562]	[418,290]	[△ 197,728]
受取利息	1,779	1,936	△ 157
雑収益	218,783	416,354	△ 197,571
経常収益計	1,770,124,574	1,758,690,099	11,434,475
(2) 経常費用			
①. 事業費	[1,423,898,020]	[1,398,171,292]	[25,726,728]
期首棚卸高	73,048,160	73,048,160	0
仕入高	112,003,741	109,904,193	2,099,548
期末棚卸高	△ 71,267,218	△ 68,136,025	△ 3,131,193
給与手当	310,425,958	311,539,434	△ 1,113,476
臨時雇賃金	74,557,388	72,394,974	2,162,414
退職給付費用	4,487,578	4,383,753	103,825
福利厚生費	57,912,710	57,802,284	110,426
旅費交通費	26,034,642	29,757,616	△ 3,722,974
通信運搬費	13,166,033	13,111,148	54,885
什器備品費	4,472,674	1,372,468	3,100,206
消耗品費	18,408,847	17,505,099	903,748
減価償却費	168,309,898	170,575,796	△ 2,265,898
修繕費	221,912,537	191,251,077	30,661,460
印刷製本費	6,200,332	5,983,471	216,861
燃料費	2,608,218	2,553,542	54,676
光熱水料費	26,905,953	27,872,010	△ 966,057
賃借料	21,360,829	19,866,792	1,494,037
保険料	16,398,422	16,342,022	56,400
諸謝金	17,228,275	17,362,306	△ 134,031
租税公課	12,395,499	17,695,275	△ 5,299,776
負担金	95,000,000	95,000,000	0
助成費	65,347,154	65,347,154	0
寄附金	10,000,000	10,000,000	0
宣伝広告費	59,271,317	59,760,997	△ 489,680
会議費	2,675,138	2,720,559	△ 45,421
交際費	3,036,000	3,269,573	△ 233,573
委託費	57,145,031	54,991,939	2,153,092
雑費	14,852,904	14,895,675	△ 42,771

Ⅶ-2) 予算対比正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	予算	決算	差異
②. 管理費	[123,928,136]	[125,310,728]	[△ 1,382,592]
役員報酬	700,000	700,000	0
給与手当	46,867,514	46,797,804	69,710
臨時雇賃金	1,798,010	1,843,680	△ 45,670
役員退職給付費用	100,000	100,000	0
退職給付費用	998,751	1,005,399	△ 6,648
福利厚生費	8,862,316	8,782,002	80,314
旅費交通費	13,917,348	14,026,758	△ 109,410
通信運搬費	4,337,532	4,388,324	△ 50,792
消耗品費	7,052,680	7,004,799	47,881
減価償却費	5,412,835	5,412,835	0
修繕費	1,037,647	1,259,040	△ 221,393
印刷製本費	1,393,482	1,700,966	△ 307,484
燃料費	396,861	327,455	69,406
光熱水料費	1,017,490	1,046,320	△ 28,830
賃借料	5,285,593	5,083,128	202,465
保険料	333,630	356,590	△ 22,960
諸謝金	3,474,057	3,771,636	△ 297,579
租税公課	704,002	2,154,500	△ 1,450,498
会議費	6,777,418	6,816,933	△ 39,515
交際費	920,723	1,047,193	△ 126,470
委託費	10,902,259	10,112,683	789,576
雑費	1,637,988	1,572,683	65,305
経常費用計	1,547,826,156	1,523,482,020	24,344,136
評価損益等計上前当期経常増減額	222,298,418	235,208,079	△ 12,909,661
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	222,298,418	235,208,079	△ 12,909,661
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①. 有価証券売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①. 有価証券売却損	0	0	0
②. 固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	222,298,418	235,208,079	△ 12,909,661
一般正味財産期首残高	5,534,281,243	5,534,281,243	0
一般正味財産期末残高	5,756,579,661	5,769,489,322	△ 12,909,661
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	△ 6,203,944,961	6,203,944,961
特定資産評価損益等	0	△ 190,000	190,000
基本財産受取利息	61,938,592	61,550,509	388,083
基本財産受取配当金	307,980,000	311,670,000	△ 3,690,000
特定資産受取利息	114,112	132,557	△ 18,445
受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 706,805,746	△ 689,868,058	△ 16,937,688
当期指定正味財産増減額	△ 336,773,042	△ 6,520,649,953	6,183,876,911
指定正味財産期首残高	44,959,526,849	44,959,526,849	0
指定正味財産期末残高	44,622,753,807	38,438,876,896	6,183,876,911
Ⅲ 正味財産期末残高	50,379,333,468	44,208,366,218	6,170,967,250

Ⅳ. 予算対比収支計算書（収支ベース）（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

Ⅳ-1) 予算対比収支計算書（収支ベース）

（単位：円）

勘定科目		予算	決算	差異	備考
大科目	中科目				
Ⅰ 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①	基本財産運用収入	526,518,592	529,820,509	△ 3,301,917	資金運用好調による
②	特定資産運用収入	114,112	132,557	△ 18,445	
③	事業収入	816,040,504	821,345,989	△ 5,305,485	来館者数の伸びと物販好調による
④	寄附金収入	90,457,762	90,457,762	0	
⑤	雑収入	220,562	418,290	△ 197,728	
事業活動収入計		1,433,351,532	1,442,175,107	△ 8,823,575	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出					
	仕入高	112,003,741	109,904,193	2,099,548	商品仕入の削減による
	給与手当支出	310,425,958	311,539,434	△ 1,113,476	残業手当の増加による
	臨時雇賃金支出	74,557,388	72,394,974	2,162,414	計画要員未充足のため
	退職給付支出	4,487,578	4,383,753	103,825	
	福利厚生費支出	57,912,710	57,802,284	110,426	
	旅費交通費支出	26,034,642	29,757,616	△ 3,722,974	展示制作にかかる旅費の増加による
	通信運搬費支出	13,166,033	13,111,148	54,885	
	什器備品費支出	4,472,674	1,372,468	3,100,206	科目の振り替えによる
	消耗品費支出	18,408,847	17,505,099	903,748	
	修繕費支出	221,912,537	191,251,077	30,661,460	科目の振り替えによる
	印刷製本費支出	6,200,332	5,983,471	216,861	
	燃料費支出	2,608,218	2,553,542	54,676	
	光熱水料費支出	26,905,953	27,872,010	△ 966,057	
	賃借料支出	21,360,829	19,866,792	1,494,037	地代の未発生による
	保険料支出	16,398,422	16,342,022	56,400	
	諸謝金支出	17,228,275	17,362,306	△ 134,031	
	租税公課支出	12,395,499	17,695,275	△ 5,299,776	消費税額の増加による
	支払負担金支出	95,000,000	95,000,000	0	
	助成費支出	65,347,154	65,347,154	0	
	寄附金支出	10,000,000	10,000,000	0	
	宣伝広告費支出	59,271,317	59,760,997	△ 489,680	
	会議費支出	2,675,138	2,720,559	△ 45,421	
	交際費支出	3,036,000	3,269,573	△ 233,573	
	委託費支出	57,145,031	54,991,939	2,153,092	コンサル費用削減のため
	雑費支出	14,852,904	14,895,675	△ 42,771	
	小計	1,253,807,180	1,222,683,361	31,123,819	
② 管理費支出					
	仕入高	0	0	0	
	役員報酬支出	700,000	700,000	0	
	給与手当支出	46,867,514	46,797,804	69,710	
	臨時雇賃金支出	1,798,010	1,843,680	△ 45,670	
	役員退職給付支出	100,000	100,000	0	
	退職給付支出	998,751	1,005,399	△ 6,648	
	福利厚生費支出	8,862,316	8,782,002	80,314	
	旅費交通費支出	13,917,348	14,026,758	△ 109,410	
	通信運搬費支出	4,337,532	4,388,324	△ 50,792	
	消耗品費支出	7,052,680	7,004,799	47,881	
	修繕費支出	1,037,647	1,259,040	△ 221,393	
	印刷製本費支出	1,393,482	1,700,966	△ 307,484	
	燃料費支出	396,861	327,455	69,406	
	光熱水料費支出	1,017,490	1,046,320	△ 28,830	
	賃借料支出	5,285,593	5,083,128	202,465	
	保険料支出	333,630	356,590	△ 22,960	
	諸謝金支出	3,474,057	3,771,636	△ 297,579	
	租税公課支出	704,002	2,154,500	△ 1,450,498	新事務所の不動産取得税の発生による
	会議費支出	6,777,418	6,816,933	△ 39,515	
	交際費支出	920,723	1,047,193	△ 126,470	
	委託費支出	10,902,259	10,112,683	789,576	
	雑費支出	1,637,988	1,572,683	65,305	
	小計	118,515,301	119,897,893	△ 1,382,592	
事業活動支出計		1,372,322,481	1,342,581,254	29,741,227	
事業活動収支差額		61,029,051	99,593,853	△ 38,564,802	

勘定科目		予算	決算	差異	備考
大科目	中科目				
Ⅱ 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
① 基本財産取崩収入	基本財産取崩収入	0	0	0	
② 特定資産取崩収入	芸術祭事業積立資産取崩収入	248,750,000	248,750,000	0	
	特定資産取崩収入	221,600,127	202,270,000	19,330,127	修繕積立取崩額の削減
	特定資産取崩収入	147,300,000	147,300,000	0	
	投資活動収入計	617,650,127	598,320,000	19,330,127	
2. 投資活動支出					
① 基本財産取得支出	基本財産取得支出	12,793,973	13,703,451	△ 909,478	
② その他固定資産取得支出	作品・建物他購入支出	543,029,076	561,320,348	△ 18,291,272	資産取得の遅れと科目の振り替えによる
③ 特定資産取得支出	芸術祭事業積立資産繰入支出	53,357,449	53,357,213	236	
	助成事業積立資産繰入支出	663	1,512	△ 849	
	修繕積立資産繰入支出	67,425,000	67,442,832	△ 17,832	
	事務所建設積立資産繰入支出	0	0	0	
	投資活動支出計	676,606,161	695,825,356	△ 19,219,195	
	投資活動収支差額	△ 58,956,034	△ 97,505,356	38,549,322	
Ⅲ 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
① 借入金収入	長期借入金収入	0	0	0	
	財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出					
① 借入金返済支出	長期借入金返済支出	0	0	0	
	財務活動支出計	0	0	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出					
		0	0	0	
	当期収支差額	2,073,017	2,088,497	△ 15,480	
	前期繰越収支差額	26,131,960	26,131,960	0	
	次期繰越収支差額	28,204,977	28,220,457	△ 15,480	

IX. 島別施設別収支計算書（平成30年4月1日～平成31年3月31日）【参考用】

(単位：千円)

勘定科目		直島・女木島グループ							
大科目	中科目	地中	李	銭湯	ANDO	六区		女根&ワグナ	計
I	事業活動収支の部								
1.	事業活動収入								
事業収入	公益事業収入	325,361	56,129	18,969	27,993	0		571	429,023
	公益販売事業収入	108,773	12,934	14,659	5,605	2		13	141,986
	小計	434,134	69,063	33,628	33,597	2		584	571,009
その他収入	雑収入他	45	14	0	1	0		0	60
	事業活動収入計	434,179	69,077	33,628	33,599	2		584	571,069
2.	事業活動支出								
事業費支出		264,023	50,359	39,921	16,585	408		4,953	376,249
	事業活動支出計	264,023	50,359	39,921	16,585	408		4,953	376,249
	事業活動収支差額	【決算】	170,156	18,718	△ 6,293	17,014	△ 405	△ 4,369	194,820
		【予算】	162,425	16,217	△ 6,167	16,765	△ 397	△ 4,502	184,340
		増減	7,731	2,501	△ 126	249	△ 8	133	10,479

勘定科目		犬島・豊島・小豆島グループ								
大科目	中科目	犬島	豊島美・森・ゆがエト	ポル	横尾館	八百万ラボ	針工場	福武ハウス	計	
I	事業活動収支の部									
1.	事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	35,737	86,639	12,452	12,997	668	1,356	0	149,849	
	公益販売事業収入	17,977	72,029	8,760	1,326	85	311	0	100,488	
	小計	53,715	158,667	21,212	14,324	753	1,667	0	250,337	
その他収入	雑収入他	67	13	2	5	0	0	5	92	
	事業活動収入計	53,782	158,680	21,214	14,329	753	1,667	5	250,429	
2.	事業活動支出									
事業費支出		102,944	138,823	16,147	18,916	2,547	1,762	1,809	282,949	
	事業活動支出計	102,944	138,823	16,147	18,916	2,547	1,762	1,809	282,949	
	事業活動収支差額	【決算】	△ 49,162	19,857	5,067	△ 4,588	△ 1,795	△ 95	△ 1,804	△ 32,520
		【予算】	△ 49,712	15,094	5,112	△ 4,208	△ 1,978	△ 72	△ 1,798	△ 37,561
		増減	550	4,763	△ 45	△ 380	183	△ 24	△ 6	5,041

令和元年5月10日

公益財団法人 福武財団
理事長 福武 總一郎 殿

公益財団法人 福武財団

監事 沼 澄夫



監事 尾 尻 哲 洋



監査報告書

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの公益財団法人福武財団の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第99条第1項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から財産の状況及び職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上